キャラクター名
"シモン" （本名：エイリアス）

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ウロボロス	ワークス	暗殺者	カヴァー	従者
オプショナル		年齢	?歳（外見：70歳）	性別	男
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	29 %
出自	貧乏	経験	絶望の日々のはじまり	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	0			3
精神	3	0	3			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ	4		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達		
運転： 四輪	2		芸術：			知識： 北欧	2		情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
100↓：	ＲＣ	13r+4				C値：8 侵：8（+3） 名づけるほどのものではない
100↑：スウォエルヴァラン	ＲＣ	15r+4				C値：7 侵；〃 suojeluvalan（守護の誓い）

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種	P	N		
初代リースロワー	P 誠意	N 悔悟		
エリザベス・R・リースロワー	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
リフレックス	2	2	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果： C値-Lv								
幸運の守護	1	1	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身	<RC>	-	
効果： ドッジ								
アニマルテイマー	3	3	ﾒﾉﾘｱ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果： 判定+(Lv+1)D								
ニンバス	3	2	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身	対決	Dﾛｲｽ	
効果： 判定+LvD								
運命の切り替え	3	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	-	
効果： 対象の代わりにドッジ。Lv回/ｼﾅﾘｵ								
反転する運命	1	4	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果： 《運命の切り替え》+その攻撃を行ったキャラクターに命中。1回/ｼﾅﾘｵ								
隠された世界	1	1D10	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	100%	
効果： 対象:単体ではない攻撃を単体化。1回/ｼﾅﾘｵ								
擬態の仮面	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果： イージーフェイカー								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

■概要
「ふふ……私はしがない、ただの老いた執事でございますよ」
いかにもといった老執事。燕尾服を着てお嬢様の傍らにそっと立ち紅茶を淹れる、そんな執事。ドテンプレの片目モノクル、懐中時計も忘れていない。

■経緯
もはや本人も覚えてはいない、遠い遠い昔から彼はずっと生きていた。その頃からあまり良い職を手にしておらず、気づいたら人を殺める仕事をしていた。
別に好きな訳でもなかったが、単純に金が手に入る手軽な手段がそれくらいだったから。
そんな彼が30代ごろのある日、彼が殺めた人間がたまたま古代種のオーヴァードだったことから感染し、外見年齢が変わらなくなる。
肉体の身体能力もほぼ据え置きだったため、当時は万々歳だったのだが、何年も経てばそれも苦行になり、『死』を願うようになる。
そんな中でこなした仕事でヘマをしてしまい、返討ちにあった……ところ、ターゲットの人物に何故か救われた。それが初代リースロワー。
あろうことか、自分を従者として使うという。『お前の命は私が預かったのだから、お前は死ぬまで私の傍仕えをしなさい』と。
これを言われた当時の氏は、PC2の身体のことを知らずにこれを言っており、PC2自身もこの時点ではそこまで付き合ってやる気はなかった。
……のだが、何年か過ごし、暗殺しようと試み、出来ない日々が続き、……簡単に言うと絆された。その過程で古代種もバレた。
そうして氏が天寿を全うする時『お前の任を解く。あとは好きにしろ』と言われるが『いいえ。私は"死ぬまで"お仕えすると誓いましたので』といい、以降の子孫に至るまで従者として従うことを伝えた。

■エリザベス様との関係
上記の経緯から、リースロワー家の従者として何年も傍仕えをしている。が、初代以降には自身の体質のことを明かしておらず、"擬態の仮面"を用い外見年齢を適宜操作している。そうして自身が寿命で死ぬくらいの年齢に達した時は『寿命で死んだ』テイにしてから若返り、『次の代の者です』というテイで従者をしている。（このため、周囲には従者自身も代替わりをしていると思わせている。実際はただの本人の一人芝居）
このため、"今のPC2"もそろそろ代替わりの時期だなーとぼんやり思っている。